

(3章 土工)

(3.2.3)埋戻し及び盛土
建設発生土受入量 m³
発生場所
関連工事名称

(3.2.5)建設発生土の処理
・構内指定場所に敷き均し
・構内指定場所にたい積
○(1.3.8)による

(4章 地業工)

(4.2.2)試験杭
試験杭
杭の本数 ○最初の一本
杭の種類 ○本杭と同じ
杭の寸法 ○長さ6.0(m)(短尺施工3.0+2.0+1.0)
断面寸法 ○本杭と同じ

(4.2.3)杭の載荷試験
・鉛直載荷試験 ・水平載荷試験

(4.2.4)地盤の載荷試験
・行う ・行ない

(4.3.1)適用範囲
施工法
特定埋込み杭工法
・プレボーリング根固め工法
・中掘り拡大根固め工法
・打込み工法
・打込み（プレボーリング併用）
・セメントミルク工法

(4.3.2)材料
種類
・PHC杭
・SC杭
・PRC杭
先端部形状 ・開放型 ・閉そく平たん型

(4.3.3)打込み工法
杭の設計支持力
試験杭の推定支持力の算定方法
杭の水平方向の位置ずれの精度 mm

(4.3.4)セメントミルク工法
杭の水平方向の位置ずれの精度 mm

(4.3.6)継手
杭継手工法 ・アーク溶接継手 ・無溶接継手

(4.4.2)材料
鋼管ぐい SKK400 SHK490 STK400 鋼管認定工法(G-ECSパイル工法 程度)
H形鋼ぐい SHK400 SHK490M SHK400M

(4.5.3)材料その他
コンクリートの種別 A種 B種
設計基準強度 N/mm²
鉄筋の最小かぶり厚さ mm
コンクリートの調合管理強度による構造体強度補正值(S) N/mm²
掘削工法
・アースドリル工法 (安定液 使用する 使用しない)
・リバーシ工法
・オールケーシング工法 (孔内の水張 行う 行わない)
・

(4.5.4)アースドリル工法、リバーシ工法及びオールケーシング工法
孔壁測定 行う 行わない
方法 超音波測定器
杭の水平方向の位置づれの精度 mm

(4.5.5)場所打ち鋼管コンクリート杭工法及び拡張杭工法
孔壁測定 行う 行わない
方法 超音波測定器
杭の水平方向の位置ずれの精度 mm

(4.6.2)材料
○再生クラッシュラン ・切込砂利及び切込砕石

(5章 鉄筋工)

(5.2.1)鉄筋
種類の記号 径(mm) 適用箇所
SD295A D10~16 下記以外
SD345 D19~25 はり・柱の主筋
SD295A D10~13 柱フープ(はり仕口部は除く)、梁スラーラップ
SD390 D29 はり・柱の主筋
SD295A D13 枕頭補強筋

(5.2.2)溶接金網
網目の形状、寸法 鉄線の径(mm)
100×100 φ6
150×150 φ9

(5.3.4)継手及び定着
継手方法等

部位	継手方法	径(mm)
柱、梁の主筋	ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手	19mm以上
その他	重ね継手 ・	上記以外

柱及び梁の主筋の重ね継手の長さ 40d 45d
耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ・ ・
柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さ 40d 45d
柱に取り付ける梁の引張り鉄筋以外の鉄筋の定着長さ 40d 45d

(5.4.9)圧接完了後の試験
・引張試験

(6章 コンクリート工)

(6.3.1)コンクリートの材料
種類
普通ポルトランドセメントまたは混合セメントのA種
適用箇所 捨て、土間、基礎、躯体
高炉セメントB種
適用箇所
床型枠用鋼製デッキプレート
使用箇所 備考

(6.8.3)材料
製造所

(6.11.3)品質
コンクリートの強度管理の材齢 28日

(7章 鉄骨工)

(7.9.2)耐火被覆材の種類及び性能

種別	所要性能	適用箇所
耐火材吹付	1時間耐火	2階天井裏鉄骨梁の一部

(11章 タイル工)

(11.2.2)材料
タイルの形状、寸法、きじの質及び工法等

(11.3.2)材料
施工箇所 形状・寸法(mm) きじ 磁器・セラミックス 陶器 施釉 無釉ありなし 標準特注 工法名 製造所(製品名)

(11.4.2)材料
外部壁タイル 95×45 ○ ・ ・ ○ ・ ○ ・ ○ ・ 外装壁タイル接着剤張り 株式会社LIXIL 株式会社Danto Tile

(11.2.7)工
内部壁タイル 95×45 ○ ・ ・ ○ ・ ○ ・ ○ ・ 内装壁タイル接着剤張り 株式会社LIXIL 株式会社Danto Tile

(11.3.7)工
内部床タイル 50×50 ○ ・ ・ ○ ・ ○ ・ ○ ・ 内装床タイル密着張り 株式会社LIXIL 株式会社Danto Tile

※施工箇所の下線は、耐凍害性があるものを示す。
試験張り ・行う ○行わない
見本焼き ・行う ○行わない
セメントモルタルによる磁器質タイル張り
下地及びタイルごしらえ MCR工法 目荒し工法
有機系接着剤による磁器質タイル張り
下地及びタイルごしらえ MCR工法 目荒し工法
・外装壁タイル接着剤張り下地等に均しモルタルを施工する場合の下地となる躯体面は、超高压洗浄工法(吐出圧150N/mm²、ノズル距離5cm以内で洗浄)による目荒しを行う。
なお、目荒しの程度については、事前に監督職員の承諾を受ける。

(14.2.1)ステンレスの表面仕上げ

種 類	施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)
HL程度	E x p . J
No.2B程度	
鏡面	

(14.4.4)工 法
軽量鉄骨天井下地
天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所 ○図示
補強方法 ○図示

その他
既製品の金物

種 類	仕様・製品名(製造所)	適用箇所
天井点検口	□450・□600 アルミ額縁枠・額縁タイプ HHSO(ナカ工業(株))、(株)ニック、株式会社オクジュー)	図示

(16.2.2)性能及び構造
(16.2.4)形状及び仕上げ

性能等級	A種	B種	C種
耐風圧等	S-4 ・	S-5 ・	S-6 ・ S-7
気密性	A - 3	A - 4 ・	
水密性	W-4 ・	W-5 ・	100Pa
枠の見込み寸法(mm)	70 ・ 100 ・	図示による	70 ・ 100

表面処理			
建 具	種 別		
外部に面する建具	B-1種 B-2種(・ブ라운系 ブラック ・ステンカラー) ・		
屋内の建具	C-1種 C-2種(・ブ라운系 ブラック ・ステンカラー) ・B-2種(・ブ라운系 ・ブラック ・ステンカラー)		

種 類	材 種	線 経	網 目
防虫網	合成樹脂製 ガラス繊維入り合成樹脂製 ステンレス(SUS316)製	0.25mm以上	16～18メッシュ
防鳥網	ステンレス(SUS304)綿材	1.5mm以上	綱目寸法15mm

(16.2.3)材料
(16.2.3)材料

(14章 金属工)

(16.14.3)ガラス溝の寸法、形状等
ガラスブロック
寸法及び厚さ(mm) 表面形状 色 調 化粧目地の色 シーリングの種類

(16章 建具工)

(18.1.3)材料
塗料は、ホルマリン不検出のものとし、有機溶剤の含有の少ないものとする。
防火材料の指定
・屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所は防火材料とする。

(18章 塗装工)

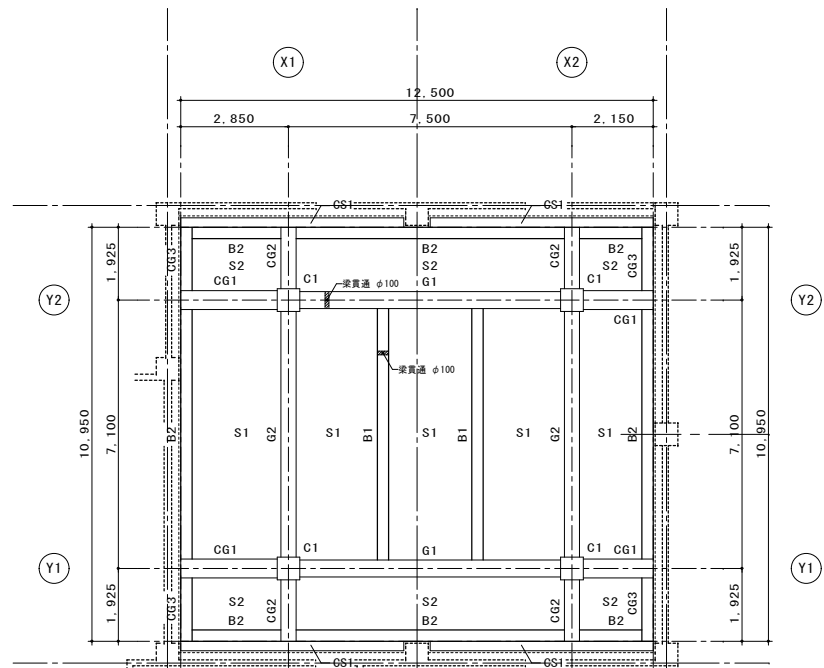
質疑回答による修正箇所を示す

鹿児島大学施設部

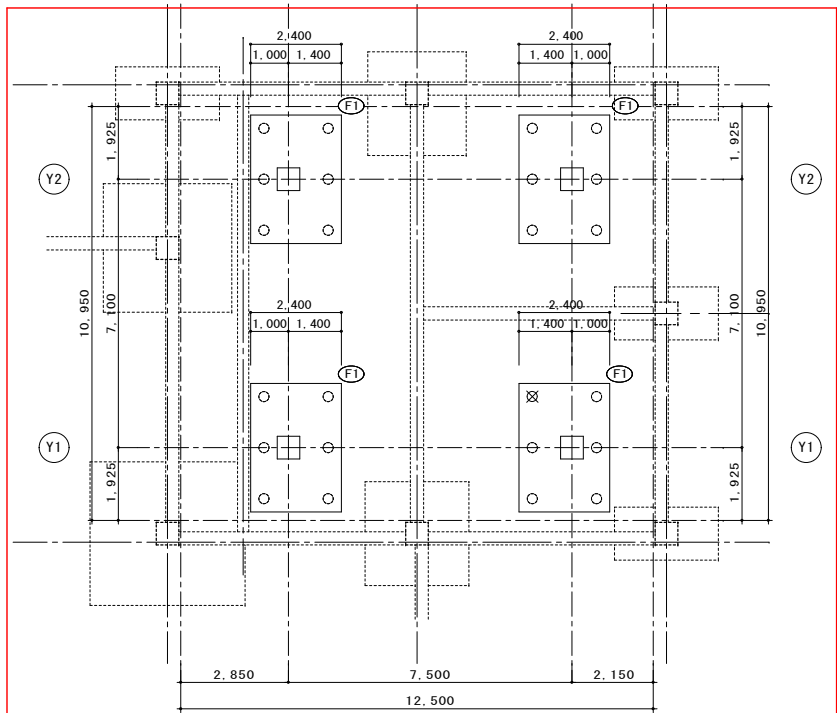
工事名 鹿児島大学(郡元)南九州・南西諸島域共創機構棟1オープン実証ラボ増築工事
図面名 特記仕様書(2)

縮尺 N.S.
日付 R元

特-02【訂正版】



2階梁伏図 S=1/100

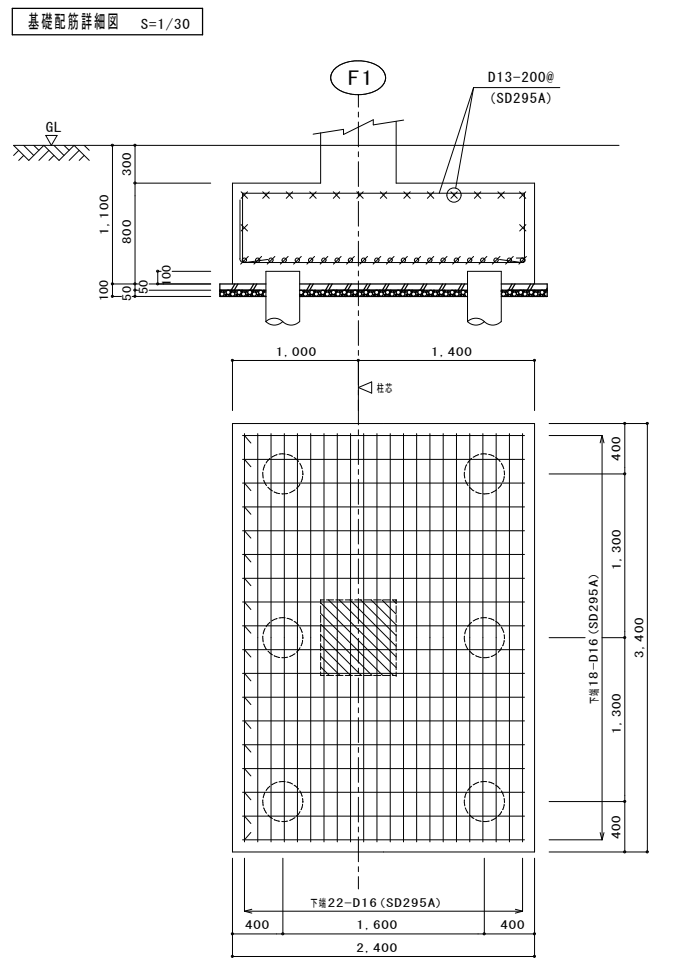


基礎伏図 S=1/100

※ 試験杭を示す

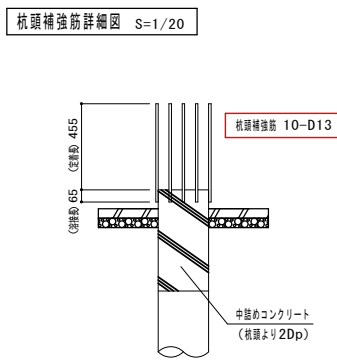
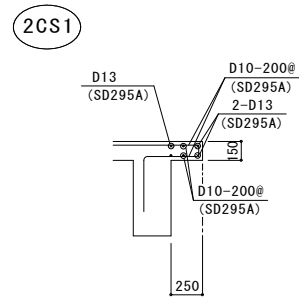
大梁リスト S=1/30		
符 号	2G1	2G2
位 置	全断面	全断面
断 面		
B × D	450×850	400×800
上 端 筋	5-D25 (SD345)	4-D25 (SD345)
腹 筋	2-D10 (SD295A)	2-D10 (SD295A)
下 端 筋	3-D25 (SD345)	3-D25 (SD345)
スターラップ	D13-200@ (SD295A)	D13-200@ (SD295A)

スラブリスト S=1/30		
符 号	厚 さ	主筋方向配筋
		端部 (A) 中央部 (B) 両辺部 (C) (D)
2S1	150	上端筋 D13, D10-200@ (SD295A)
		下端筋 D13, D10-200@ (SD295A)
2S2	150	上端筋 D10-200@ (SD295A)
		下端筋 D10-200@ (SD295A)



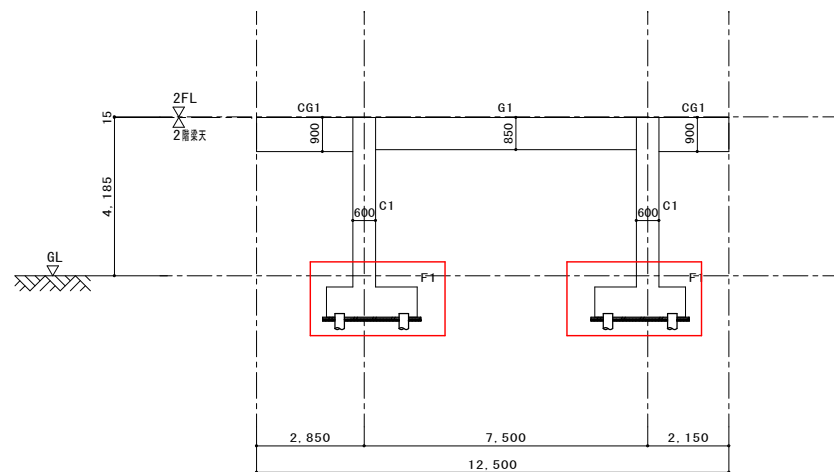
小梁リスト S=1/30		
符 号	2B1	2B2・2CG3
位 置	端部	中央
断 面		
B × D	300×800	300×750
上 端 筋	3-D22 (SD345)	3-D22 (SD345)
腹 筋	2-D10 (SD295A)	2-D10 (SD295A)
下 端 筋	3-D22 (SD345)	5-D22 (SD345)
スターラップ	D10-200@ (SD295A)	D10-200@ (SD295A)

柱リスト S=1/30		
階	符 号	C1
1 階	断 面	
	B × D	600×600
	主 筋	8-D25 (SD345)
	フ ー プ	D13-100@ (SD295A)

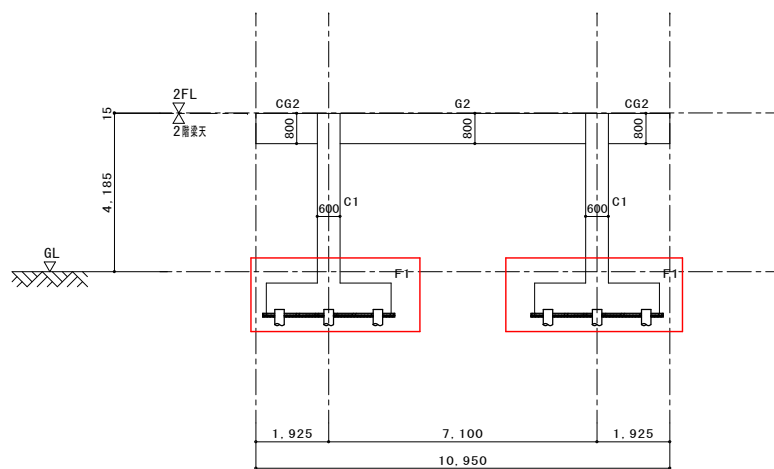


共通事項	
鉄筋	D10~D16 (SD295A) D19以上 (SD345)
根径	φ 318.5×10.3
根理	STK400
根長	L=6.0m (GL~7.0m) 短尺施工 (3.0m+2.0m+1.0m)
総本数	24本
工法	鋼管認定工法 (G-ECSパイル工法 程度)
所要杭耐力	Qa=270KN/本 (表層)

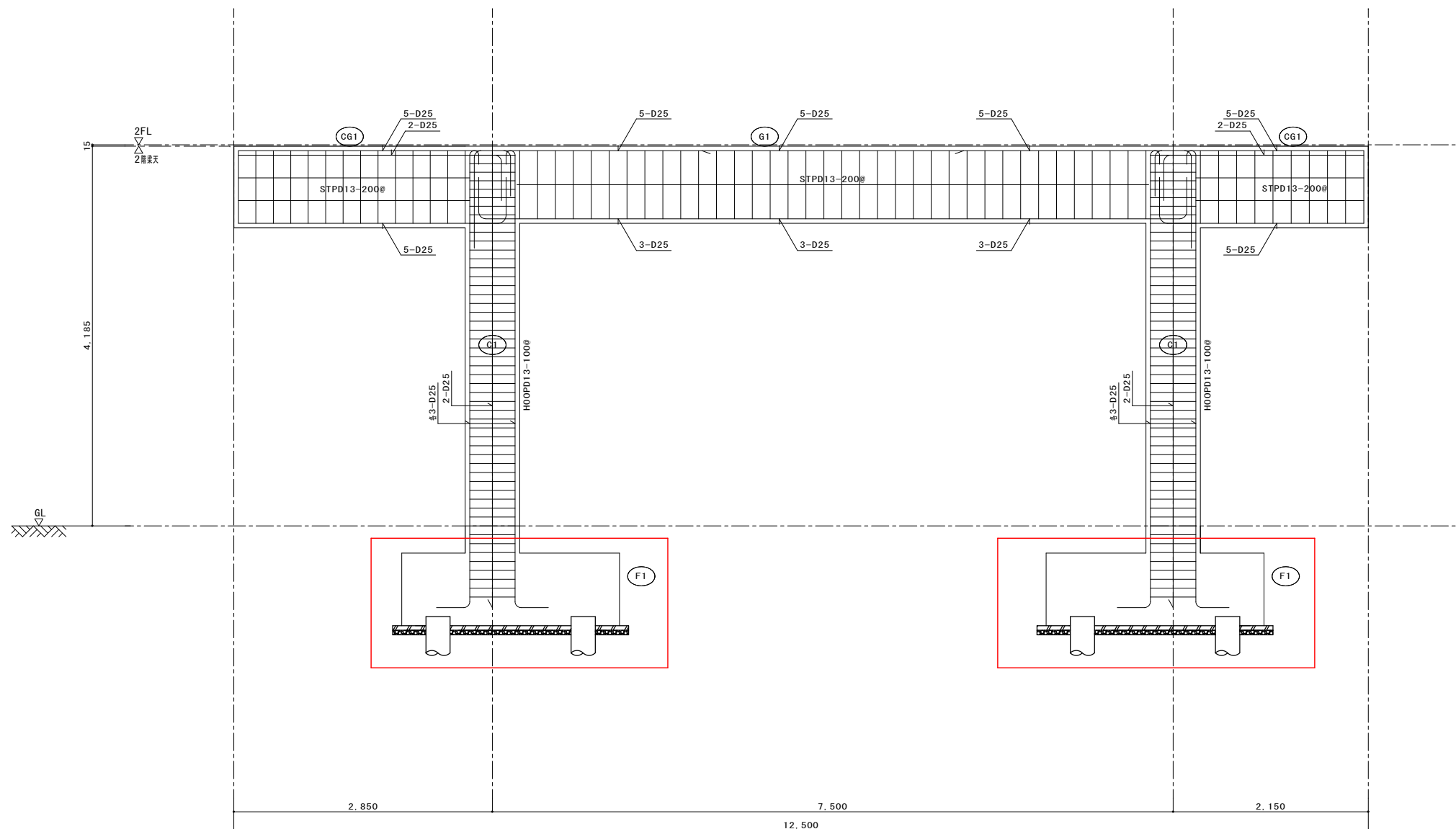
質疑回答による修正箇所を示す



Y1, Y2 通り軸組図 S=1/100



X1, X2 通り軸組図 S=1/100



Y1 通り配筋詳細図 S=1/30

質疑回答による修正箇所を示す

鹿児島大学施設部

工事名 鹿児島大学（郡元）南九州・南西諸島域共創機構棟 1
オープン実証ラボ増築工事
図面名 軸組図, Y1 通り配筋詳細図

縮尺 A1: 1/100, 1/30
A3: 1/200, 1/60
年度 H30

図面番号 S-02
【訂正版】